

報 館 おかだ

令和元年9月1日現在

世帯数：3,125 戸
 男女計：7,181 人
 男：3,525 人
 女：3,656 人

松本市総合防災訓練

岡田地区を主会場に開催される!!

第40回松本市総合防災訓練が、女鳥羽中学校、岡田小学校、岡田地区地域づくりセンター、岡田公民館、岡田体育館、特別養護老人ホーム「岡田の里」等を会場に、午前9時から11時まで行われました。

市職員、消防、警察、自衛隊、医療機関、ライフライン関係（水道・電気・ガス・建設等）、報道機関等協力のもと、住民も大勢参加で、総勢800名という、スケールの大きな訓練でした。

災害時は、その地域の情報（地形、道路、建物、住民）を一番よく知る地域住民の手で避難所の運営を行うこととなります。地元の皆さんが普段の近所付き合いのようにお互いを支え協力するというのが、災害を乗り越えられる力になるのではないのでしょうか。

(取材 中本、酒井)



応急手当訓練



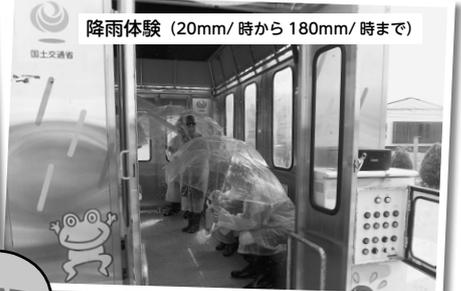
検索・救出・搬送訓練



地震体験



災害伝言ダイヤル体験



降雨体験 (20mm/時から180mm/時まで)



自衛隊・日赤奉仕団による給食訓練



医療救護所訓練でのダンボールベッド作り



土のう製作・積み方訓練

第34回おかだ夏まつり

台風の接近が心配されましたが、地域の皆さんの総力で台風を吹き飛ばし、二年ぶりの開催となりました。会場はたくさんの方が集い、出店はどこも長蛇の列で大盛況。途中から雨が降り出しますが、会場は終始賑やか。最後に色とりどりの花火が打ち上げられ、雨の夜空を彩りました。(取材 酒井)



アルプちゃん登場!!



みんなで踊ろう!おかだの輪!

岡田地区町内公民館対抗球技大会結果

8月25日(日)に令和最初の岡田地区町内公民館対抗球技大会が行われました。好天のもと、各競技で熱戦が展開されました。結果については下記のとおりです。

総合成績

優勝 岡田町
 準優勝 東区
 第3位 伊深

軟式野球

優勝 伊深
 準優勝 神沢
 第3位 山浦

ソフトバレー (男女混合)

優勝 山浦
 準優勝 岡田町
 第3位 東区

ソフトバレー (女子のみ)

優勝 神沢
 準優勝 岡田町
 第3位 東区

卓球ラージ

優勝 岡田町
 準優勝 松岡
 第3位 東区

ゲートボール

優勝 東区
 準優勝 伊深
 第3位 山浦

マレットゴルフ

優勝 岡田町
 準優勝 松岡
 第3位 東区



桜の名所(誕生の経緯)

山浦

平成31年4月20日、松本トンネル有料道路の岡田側(伊深字矢作)に100本を超えるソメイヨシノが満開となりました。近年桜の開花時期になると、「どういふ経緯で誰が植えたものか」を聞かれることが多くあり、長野県道路公社松本トンネル有料道路管理事務所の担当者から、桜の植樹経緯を直接お聞きしてきました。

そもそも、松本トンネルは三才山トンネル有料道路の開通により、松本市街地へ流入する車が市街地を通過せずに通行できるようにするため、昭和63年12月から6年の工事期間を経て有料道路として建設されたものです。山浦地区の中でも特に矢作常会地籍がトンネル出入口となるために、騒音・環境対策を講じるよう、長野県や松本市へ山浦地区として要望した経緯があります。その具体策として出入口の植栽が行われ、洞の交差点付近からトンネル出入口のレンギョウ・コデマリ等12000本余の植栽が行われ

たことが分かりました。そこに桜は含まれていなかったため、桜の植樹経緯を改めて調べていただいたところ、次のことが分かりました。

最初の桜の植樹はトンネル本体工事に含めて行われたこと、トンネル開通の平成6年12月には、95本の桜の苗木が岡田側に植えられ他の植樹と一緒に整備されたこと、トンネル開通2年後の平成8年9月に、枯れてしまった桜の苗木33本を植え直したことが、分かりました。開通後の除草・剪定等の管理はすべて今も道路公社が行っています。

六助池からの取り付け道路の土手や民家との間の干渉帯に、ソメイヨシノが満開になる4月中旬は毎年楽しみであり、この場所が岡田の桜の名所になっています。(取材 西村)



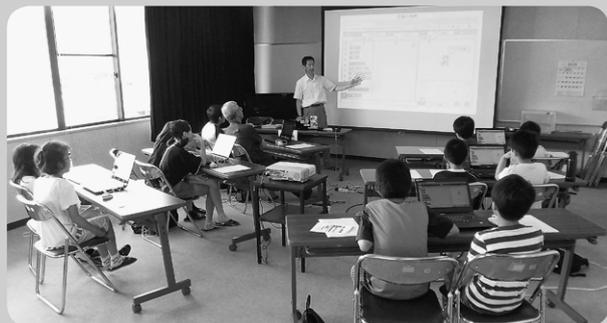
松本トンネル取付道路沿いの満開の桜並木

初開催!!

こどもプログラミング教室

コンピューターを使いこなすことは、これからの子どもたちには必要不可欠です。環境は家庭によって様々ですが、公民館ができるのはきっかけづくり。そこで、夏休み特別講座として、8月20、21日の2日連続で、小学4~6年生の初心者対象プログラミング教室が開かれました。

スクラッチ* というアプリケーションを使い、岡田在住の濱田康先生が指導にあたりました。「今や音楽にもアートにもプログラミングは欠かせないもの。かつてのように理系の人専門にすることではありません。自分の興味のある分野で、好きに使ったり動かしたりできるんだ、ということを読んでほしい。」とのこと。子どもたちは興味に沿って、どんどん新しいことを吸収していました。(取材 中本)



*Scratch (スクラッチ) ... マサチューセッツ工科大学メディアラボが開発した無料で使用可能なプログラミング言語学習環境

ソフトダーツをご存じですか?簡単に言うと、点数の書いてある的に矢を投げて、その精度を競いあう遊びです。飲食店やゲームセンター、漫画喫茶などに設置され、認知度は上がってきているようです。それを、競技として、健康促進の運動として、地域の交流の場として、活用しようという動きが全国に広がっています。なぜそのような効果があるのでしょうか。

①体力の有無に関係なく、若男女を問わず同じ条件で行えます。高さ170cmの的に向かい2mの距離から矢を投げ、点数を競い合うシンプルな遊びですが、精度を求められます。みんながワイワイ楽しむのもよし、ストイックに個人で遊ぶもよし、です。

②体力はいりませんが、投げると歩く、そして簡単な足し算引き算が必要なので、認知症予防や子どもの計算力向上にと、取り入れる施設もあります。

③みんなですると楽しい。基本は遊びですから仲のいい人達と、またはダーツを通じて知り合った仲間と楽しめます。余談ですが、私はダーツで知り合った仲間と結婚式の二次会に声をかけたところ、90名以上が参加してくれました(笑)

私は今、岡田地区でサークルを立ち上げ、地域の交流の場を作ろうと模索しています。

生活雑記

趣味の普及を目指して

塩倉 浅輪 克裕

一昔前に比べ近所や地域の交流が薄くなってきたと言われていました。新しい何かを始める機会には新しい交流が生まれます。そんな新しい地域活性を描きながら、趣味であるダーツの普及に努めていきたいと思っています。